

ひきじだい

令和4（2022）年3月1日

弥生（3月）号

大和市長



引地台小学校



卒業式、修了式に向けて

校長 箱崎 勝美



暦の上では3月ですが、まだまだ朝晩の気温は低く、春の日差しが待ち遠しいこの頃です。先日の朝、ごみ拾いをしながら歩いていると、学校の裏の駐車場に水仙の花が咲いていました。寒さの中に春の気配を感じました。そして、令和3年度も残すところ1ヶ月となりましたが、まん延防止措置が続き、制約がある中での教育活動にも、ご理解をいただき、ありがとうございます。

さて、北京2022オリンピック競技大会が閉幕しました。日本のメダルの数は過去最多となり、選手達の活躍が印象に残りました。

その中でも、まず、男子フィギュアスケートの羽生選手です。3連覇は逃したものの、世界で誰も成功していない4回転アクセルジャンプに挑戦した演技には、感動しました。演技中、4回転アクセルジャンプにチャレンジして、残念ながら転倒してしまいますが、世界初の4回転アクセルジャンプとして認定されました。メダルには届かなかったものの、失敗を恐れずにチャレンジする勇氣に感銘を受けました。

次に数々の激闘を繰り広げ、銀メダルを獲得したカーリング女子代表「ロコ・ソラーレ」の活躍にも感動しました。どんなに厳しい試合でも、みんなで声を掛け合って励まし合って、素晴らしいコミュニケーション力で乗り越えてきたことが、銀メダルにつながったのだと感じました。

昨年9月のオリンピック代表決定戦の時、メンバーの一人がプレイ直前、「ごめん。かなり緊張している。」と打ち明けると「もっと緊張していいよ。」と仲間が笑い飛ばしてくれて、緊張がほぐれ、スーパープレイが出て、大逆転となったそうです。そして、日本代表となり、北京に行きます。オリンピックの試合でも、ミスを連発し、涙する選手を仲間が明るく励まし、失敗を補い合う素晴らしいチームワークでした。全クラスの子どもたちが「ロコ・ソラーレ」のように明るく元気に、なかよく、3月も過ごすことができることを願っています。

先日、「第6学年校内オンライン授業参観」が実施されました。参観していただいた保護者の皆様、ありがとうございます。6年生の道徳の授業の中で、「みんながいればいい卒業式になる。」「最高の卒業式にしたい。」「最高の仲間と一緒に頑張りたい。」などの感想が書かれていました。

改めて仲間の大切さを学んだ6年生の子どもたちからは、皆様に喜ばれる最高の卒業式にしたいという意気込みが感じられました。「子どもたちの成長は、どんな時でも素晴らしいな。」と強く思いました。6年生は、今月の3月18日（金）に卒業式を迎えます。仲間と一緒に笑顔で卒業してほしいと願っています。そして、1年生～5年生の子どもたちも、元気で修了式を迎えてほしいと思います。

（参考文献：2022年（令和4年）2月21日（月）朝日新聞朝刊社会面）

～お知らせ～

〈職員の異動に関して〉

1月より本校に勤務していました南辻恵子養護教諭は2月25日（金）で勤務を終了しました。2月28日（月）より中上知世養護教諭が復帰いたしました。

〈離任式について〉

年度末に異動ならびに退任する教職員の離任式は、例年4月上旬に行っていましたが、昨年度に続き、コロナ感染症防止と行事などの見直しの観点から中止といたします。なお、「離任式」に代わって3月中に児童と教職員のみ参加の「お別れ会」を実施する予定です。

